令和7年度周南市防災会議会議録

- 1 開催日時 令和7年5月13日（火） 10時00分～
- 2 開催場所 周南市役所 4階 防災対策室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 傍聴者 傍聴者2名
- 5 議題 周南市地域防災計画修正案について

（事務局）

定刻となりましたので、これより、会議を開催いたします。開会に先立ちまして、周南市民憲章の唱和をいたします。恐れ入りますが、皆様ご起立いただき、お手元の周南市防災会議資料1枚目をめくっていただき、周南市民憲章をご覧ください。最初に私が前文を読み上げますので、皆さまと一緒に後の市民憲章をご唱和下さい。

（市民憲章唱和）

ありがとうございました。ご着席下さい。

それでは、これより、令和7年度周南市防災会議を開催させていただきます。委員の皆様には、ご多忙の折、本会議にご出席いただき、ありがとうございます。本日の委員のご出席は、総数45名の内、代理出席含めた41名となっていることを申し添えいたします。私は、本日、事務局として会議の進行役を務めさせていただきます、周南市防災危機管理課の武藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、お手元に配布しております次第に沿って進行させていただきます。まず、周南市防災会議会長の、周南市長、藤井律子のご挨拶申し上げます。

（市長）

皆さまこんにちは。周南市長の藤井律子でございます。本日は、大変お忙しい中、周南市防災会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

皆様方におかれましては、いつも、市の防災行政の推進につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。ご承知の通り、地震や集中豪雨など、自然災害が激甚化、頻発化しております。このほか、先日は、全国各地で林野火災が発生するなど、いづどこで起きてもお不思議ではない状況であり、常に、あらゆる事態を想定し、対応しなければならなくなっております。そのため、昨年度から、「防災専門員」を配置し、市の災害体制の点検・見直しのほか、関係機関との連携強化を図っているところです。また、市役所内部の指揮統制機能の強化・充実を図る目的から、来る5月20日に、災害時を想定した、図上シミュレーション訓練を行います。さらに、11月には、毎年開催している「総合防災訓練」を新南陽地域で実施いたします。本年度は、新南陽地域の自主防災協議会の皆様と連携して、南海トラフ地震・津波を想定した訓練を実施する予定としております。皆様方のご参加をよろしく願いいたします。このほか、デジタル技術を活用し、避難所情報や被害情報など災害情報を市民の皆さまに、より分かり易く提供するポータルサイトの構築など、様々な防災対策を講じてまいります。これからも、市民、地域、企業、行政が相互に連携し、本市の防災対策に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様のお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。本日は、周南市地域防災計画の修正等について、ご審議いただくこととしております。皆様、それぞれのお立場において、忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしく願いいたします。

(事務局)

続きまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。本日お集まりいただいております皆様には、周南市防災会議条例第3条の規定により委員をお願いしております。本来なら、おひとりずつお名前を読み上げてご紹介するところですが、資料の委員名簿を以て、ご紹介に代えさせていただきます。また、今年度より、防災に関する専門的な知識や経験を有する5団体6名の方に新たに委員をお願いしております。お名前を読み上げてご紹介いたします。お名前をお呼びしましたらご起

立いただけますようお願いいたします。

(以下6名の委員の紹介)

ありがとうございました。次第5の議題に入りたいと思います。周南市防災会議条例第3条第3項に基づき会長に議長をお願いしたいと思います。それでは、藤井会長よろしくようお願いいたします。

(会長)

それでは、本日の議事に入りたいと思います。よろしくご審議のほどお願いいたします。まず、議題「(1)周南市地域防災計画の修正」(案)について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

こんにちは、本日はお忙しい中、周南市防災会議にご出席いただきありがとうございます。防災危機管理課の木戸と申します、よろしくお願いいたします。早速ですが議題に入りたいと思います。お手元の「周南市防災会議」の2ページをご覧ください。議題1「周南市地域防災計画の修正」について補足説明します。詳細につきましては資料①令和7年度改定案に新旧対照表形式でまとめてありますが、軽微な変更も多いためポイントを絞って説明します。「周南市防災会議」の5ページをご覧ください。今回の修正の要点としては、①災害体制の見直し、②周南市津波避難計画の作成、③地区防災計画の3点です。①災害体制の見直しについて、これは、「機能的・効率的」な防災体制を構築し、災害対応の強化を図ることを目的とし、市の「災害対策体制」の指揮系統を見直すものです。「支所・市民センター」についてよりきめ細やかな連絡体制を構築することを目的に、「和田支所」を「新南陽総合支所」の直轄の指揮系統に、「八代支所」及び「熊毛総合支所管内の市民センター」を「熊毛総合支所」の直轄系統に組みなおし、その他の「支所・市民センター」については、「地域振興対策部」の「地域づくり推進課」を起点とした指揮系統とするものです。

2番目の「周南市津波避難計画の作成」についてですが、現在周南市では地域防

災計画」の中に「津波被害応急対策」というのを作成していますが、これを新たに「津波対策の推進に関する法律」に基づく「津波避難計画」に改めるものです。この「津波避難計画」には現行の「津波被害応急対策」よりも踏み込んだ「避難対象地域の指定」、「避難場所・避難経路の指定」などを盛り込みます。この計画を基にして「対象となる地区」において資料②の最後のページにあります「当該地区避難計画」の作成に取り組んでいただきたいと考えており、まずは6月に開催する「自主防災組織ネットワーク会議」において「地区計画作成」の説明、協力依頼を行い、市からはワークショップを開催するなど、バックアップを行ってまいりたいと考えております。今年度はまず沿岸部の自主防災組織を中心に作成を促進し、最終的には、「津波浸水想定区域」にある全ての自主防災組織での計画作成を目標とします。

最後に3番目の「地区防災計画」に関することです。資料③をお願いします。これまで周南市では10の自主防災組織が「地区防災計画」を作成していましたが、令和6年6月に「遠石地区自主防災連絡協議会」が新たに「地区防災計画」を作成したところで、今回、周南市地域防災計画へ11番目の作成済み地区として掲載することとなります。

議題に関する事務局からの説明は以上です。

(会長)

ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。

(委員)

熊毛総合支所の体制を強化したとあるが、周南市発足当時は、熊毛総合支所には、旧町出身者を中心に100名ほどの職員がいた、だが、現在は29名しかいない、また平成16年の台風時には多くの職員がいたため、対応がしやすかったが平成30年の大雨の時は、一旦解除となったため職員が帰宅してしまった、ところが、夜中に激しく降り出したため大変なことになった、道路は通行止めになるし、深夜に体制がとられても、徳山に帰った職員はなかなか出てこられない、一人だけ昼頃に自転車でようやく来られた職員がいた。強化すると簡単に言うが、そのところはどう

なっているのか。

(防災危機管理監)

ご指摘いただきました点につきましては、熊毛総合支所の体制強化のためのフォローアップをしっかりとさせていただきたいと考えております。地域班の中に、住所が熊毛地区にある職員を選抜し、迅速に対応できるように体制を組んだりさせていただいたりしております。

(会長)

他にはございませんか。

(委員)

大変資料が多い中、数点気になった点が、新旧対照表の、1 ページ、「防災面から見た周南市の概要、気象と災害」の中で雨による被害について書かれている所がありますが、この中に線状降水帯についての記載あればいいのにと考えています。最近では、線状降水帯による大雨が大変増えてきていますので、それについても、市として計画に含めるのはどうかと、あと、次のページ、「火災の予防」のところ、ここも火入れは 11 月から 2 月までとありますが、これは何か意図があってこの時期を選んでおられるのか、山火事は時期を選ばず発生していると思うので、ここは数字を選ばず書かれた方がいいのではないかと思いますかどうか。

あと 3 ページ、「市の体制・市の災害対策体制」のところなのですが、これは周南市の防災計画ということでしょうか。

(防災危機管理監)

この件については、県の修正と併せて、委員のご指摘も踏まえ、適宜修正し計画へ反映させていこうと考えております。あと、最後にご質問頂いたところですが、市の防災計画、「周南市地域防災計画」ということになります。

(会長)

他にはございませんか。

それではお諮りいたします。「周南市地域防災計画」の修正案について、ご承認

いただけますでしょうか。ご承認いただける方は拍手をお願いいたします。

(委員)

(全員拍手にて承認)

(会長)

ありがとうございます。それでは原案のとおり決定いたします。それでは次第6報告について、一括で報告をお願いします。

(事務局)

それでは、次第6の「報告」に入ります。まず「令和6年の主な災害対応」について報告いたします。先ほどの「周南市防災会議」資料の7ページから11ページにかけて掲載しておりますが、その中から2点について説明いたします。まず、10ページの③に記載しております「令和6年8月8日南海トラフ臨時情報への対応」についてです。これは、宮崎県沖の日向灘を震源とする「マグニチュード7.1」、「震度6弱」を観測した地震で、周南市では震度2を観測した事案です。この地震で気象庁は「南海トラフ地震の想定震源域において、大規模地震が発生する可能性が普段と比べて高まっている」として、初めてとなる、「南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）」を発表し、巨大地震への注意を呼びかけました。この発表を受け周南市では、「しゅうなんメール」や「市HP、SNS」を利用し、「家具の固定、避難場所・避難経路・備蓄品の確認、家族との連絡方法の確認」など、日頃の備えについて、市民の方への注意を行いました。また、市職員に対しても各所属の中で連絡体制の確認の徹底を行い、配備態勢が強化された際には速やかに参集できるよう、体制を整えることとしました。

続きまして、11ページ④に「令和7年2月1日～4日の降雪による停電対応」です。これは今年2月、市内の山間部を中心に、積雪に伴う大量の倒木が発生したことで、停電及び道路障害が発生し、電気の通じない孤立する集落が複数発生した事案です。この孤立地区に対応するため、市においては「避難所の開設・物資の配備・消防本部による救急体制の確認」、また孤立地区の住民に対して、市の「要配慮者

支援班、保健活動班」による戸別訪問を行い、健康状態の確認と、物資の提供を行う活動を実施しました。以上が「令和6年度の主な災害対応」の報告となります。

次に「令和7年度の主な防災対策」についてです。資料12ページ及び画面スライドをご覧ください。まず、1番目の「防災DX化推進事業」です。令和7年度は、本市で全庁的に運用を開始している「都合型GIS」と連動した「災害情報システム」の構築を行い、令和8年度からの運用を開始する予定としております。システムの主な機能としては、①地図情報を活用した「防災情報の庁内共有化」②市民の方に向けた「避難情報、通行止め情報」などをHPでリアルタイムで配信する、「市民向けポータルサイト」③現在「無線・ラジオ」などで情報配信を行う際に別々に操作を行っているものを一括で操作できる「一斉配信システム」の機能などがございます。このシステムの導入により、「避難情報・災害情報」を迅速かつ的確に伝達することが可能になると考えております。次に2番目の「防災専門員を中心とした図上シミュレーション訓練」です。これは、例年出水期前に職員を対象に実施しているもので、災害対応時に中枢となる「指揮統制班」や現場対応を行う「災害救助部」を対象に実施するものです。この訓練を通じて、組織体制の確認や、訓練後の評価を行い、その実効性を検証することとしております。今年は5月20日に実施いたします。3番目に「周南市・市民総合防災訓練」です。この訓練は「防災意識の向上」を目的に毎年、市と地区防災組織が共同で開催しているもので今年は富田東地区を中心とした新南陽地域が対象となります。11月16日に「新南陽高校・東ソーパーク永源山」を会場に開催することとしております。最後に、「国土強靱化計画の改訂」です。本計画は令和3年度に5か年計画として作成しており、本年度が最終年度になることから、改訂を行うもので、改定時期は令和8年3月を予定しておりますが、改訂にあたっては防災会議委員の皆様のご意見もいただくこととなると思いますのでその際はよろしくお願いたします。以上が「令和7年度の主な防災対策」についてです。

(会長)

ただ今の報告について、ご意見ご質問はございませんか。

(委員)

災害が起きた時、聴覚障害者、視覚障害者はどのようにして情報を得ればよいのでしょうか。

(事務局)

現在も「しゅうなんメール・市 HP」を通して視覚による情報提供を行っており、また端末の読み上げ機能などを使い視覚に障害がある方でも情報を得ることができるようになっています。新システムにおいても、引き続き対応していきたいと考えております。

(会長)

他にご意見ご質問はございませんか。

続いて、下関地方気象台の二村貴志様より「防災気象情報の改善と南海トラフ地震について」の解説をしていただきます。下関地方気象台様には非常時において、私への直接の電話「ホットライン」での情報提供や防災担当職員へのオンラインでの気象解説など、避難指示発令の判断支援を行ってくださっています。本当にありがとうございます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。それでは二村様最新の気象解説の講話をよろしくお願いいたします。

(下関地方気象台による解説)

(会長)

大変分かりやすいお話ありがとうございました。ただ今のお話の中で、ご意見ご質問はございませんか。ございませんでしょうか、まだ会議の時間も若干残っておりますので、何かご意見などある方はおられますでしょうか。

(委員)

避難所の体制について、避難所にもよるのかもしれないが、環境があまりよくない。毛布一枚もらってここで過ごしてくださいというものだ、台湾で地震があった

ときなんかを見ていただきたい、花蓮市なんかは民間の力を活用し速やかに避難所を開設していた、一つ市で検討してもらいたいのは、モデルケースとなる避難所を一か所作ってみて、他の避難所でもそれを習って避難所運営など行なえるようにしてもらいたい。

(事務局)

避難所の環境につきましては、環境改善のために引き続き資機材の整備を進めていきたいと考えております。

(会長)

他にご意見ご質問はございませんか。

(委員)

周南市にある道の駅は、オープンして 10 年が経過し、今回「防災道の駅」に選定された、ただ、他県にある「防災道の駅」を訪問してみると、大規模な資機材倉庫を備えているものや、ヘリポートを備えているもの、また子供たちが体験できる施設を備えたものもある。地元の回覧に「防災道の駅」の整備について回っていたが、もう少し何か核となる、はっきりとしたものを作って頂きたいと考えておりますがどうでしょうか。

(会長)

それについては、本日お越しいただいております、道の駅の整備にかかわっておられる中国地方整備局の方にも伺ってみましょう、お願いいたします。

(委員)

中国地方整備局山口河川国道事務所の●●と申します。「道の駅ソレーネ周南」の整備につきましては、飲料水の貯水タンクや備蓄倉庫など周南市さんと一緒に整備していきたいと考えております。

(事務局)

「道の駅ソレーネ周南」につきましては、「防災道の駅」であるとともに、緊急物資の受け入れや、各地域への輸送拠点としての「広域輸送拠点」としての整備も

必要になっています。委員にご指摘いただいた件につきましては、引き続き農業振興課とも協議を重ねながら進めていきたいと考えております。

(会長)

他にご意見ご質問はございませんか。

(委員)

周南市で実際に災害が起きた時にどうなるか、疑似的にみることができるデジタルツインというのがあるらしいんですが、それで実際に災害が起きた時、市内でどのような状況になるのか、可視化してみるデジタルツインというものがあるらしくて、防府市さんが持っているのを聞いて、周南市は導入しないのかなと思うのですが。

(会長)

事務局、お願いします

(事務局)

来年度から運用開始するシステム、「災害情報システム」を先に導入している防府市を見学させてもらった際に、その件については確認が出来ていません。この「災害情報システム」により導入により、「避難情報・災害情報」を迅速かつ的確に伝達することが可能になると考えております。市民の皆様に分かり易い情報を速やかに発信できるよう努めてまいります。

(会長)

他にはございませんでしょうか、それでは、本日の議題は終了となりました、また円滑な議事進行にご協力いただきありがとうございました。皆さま方にご協議いただきました、周南市地域防災計画を基に関係機関相互の協力体制をより緊密なものとし、災害に強い安心安全なまちづくりを推進してまいりますので、より一層のご支援、ご協力をお願い致します。それでは事務局に進行をお返しいたします。

(事務局)

以上で議題のすべてを終了いたしましたので、令和7年度周南市防災会議を閉会いたします。本日、ご承認いただきました地域防災計画につきましては、所要の修正を行った後、市ホームページで公開いたしますので、ご確認ください。皆様長時間にわたりお疲れ様でした。お気をつけてお帰り下さい。